

除菌

従来の除菌剤に代わる これからの除菌水

インフルエンザやノロウイルスの脅威から守ります

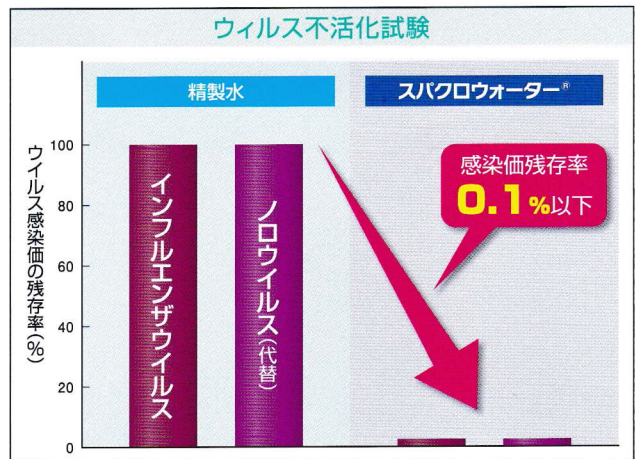
我々の身近には数多くの細菌が潜んでいます。中にはアルコールや100℃の加熱でも殺菌が困難な、芽胞菌と呼ばれる強力な細菌も存在します。

スパクロウォーターは数多くの細菌はもちろんのこと、インフルエンザウイルスやノロウイルスに対しても効果があることが証明されています。さらには芽胞菌の除菌も可能です。除菌力だけでなく除菌スピードも兼ね備えています。ほとんどの細菌は30秒以内で検出限界に達し、素早く安全で清潔な環境を作り出すことが可能です。

スパクロウォーター®の除菌力・実用性比較

除菌剤	細菌名 黄色ブドウ球菌 大腸菌O-157	インフルエンザ ウイルス	ノロウイルス 芽胞菌・黒カビ
アルコール	○	△	×
次亜塩素酸ソーダ	○	△	△
スパクロウォーター®	○	○	○

○ = 除菌ができる △ = 除菌に時間がかかる・空間噴霧に適さない × = 除菌に期待できない

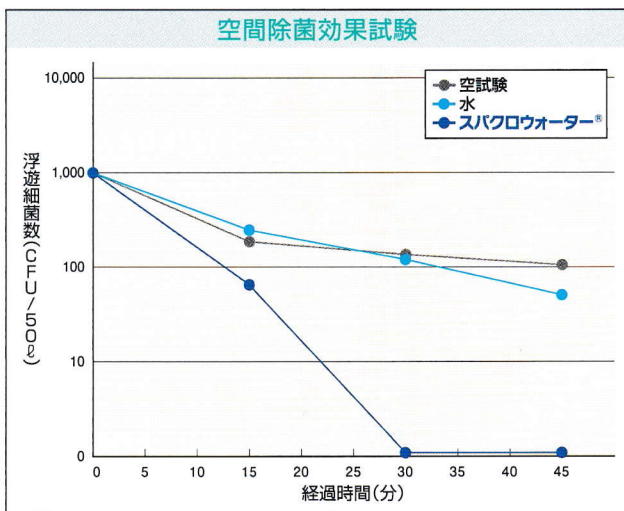


試験機関 財団法人 日本食品分析センター

試験概要 スパクロウォーターに対象ウイルス浮遊液を添加・混合し、室温で3分間作用させた後、単層培養を行い、その結果から作用液1ml当りのウイルス感染価(log TCID50/ml)を求めた。

試験ウイルス/インフルエンザウイルスA型・ネコカリシウイルス(ノロ代替) 検体/スパクロウォーター50mg/ℓ

様々な細菌に効果的で驚きの「除菌力」



試験機関 財団法人 予防環境協会

試験概要 大型クリーンチャンパー内に菌液を噴霧飛散させた後、検体を霧化器にて噴霧させ、経時的に室内の空気を採取し培養により菌数の変化を調べた。

試験概要 クリーンチャンパー/26m³
供試菌/表皮ブドウ球菌
検体/スパクロウォーター50mg/ℓ

